

---

# 食物連鎖

そこぬけ。

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

食物連鎖

### 【著者名】

そこぬけ。

### 【ノーノード】

N6080C

### 【あらすじ】

毎食を食べていた男がふと思ったのは、家畜について・・・。

夏の日差しがまぶしい毎時、ある店では学生や大人たちでいっぱいだった。

そのなかの客の一人である彼は、ハンバーガーを食べながらふと思つた。

男「このハンバーガー、うまいなあ。

牛も大量生産されて値段も手ごろ、文句なしだ。  
最初に家畜を考えた奴は天才だな」

そう思いながら彼は口を大きく開けかぶりついた。

彼のいる場所から遠く離れたところで同じ意見を持っている奴がいる。

奴「ああ、家畜ってのは便利だ。やっぱ俺は天才だな。

もっと活きの良いのが食べたいな、今度はあの子供を殺して食べよつ」

奴はそう言つと容赦なく、幼い子供を殺して食べた。

奴「ふう、うまい。さて、次は・・・最近流行つていての大食いに挑戦してみよつかな」

奴が言い終えてすぐに、世界中に大地震が起きた。

大地震は家を壊し、津波を起こし、空は暗雲になり激しい雷鳴が・・・

・。

小さな羽根をつけた男の子が奴に叫んだ。

天使「もう、やめてください！あなたは神なのですよ！  
それなのに自分の腹を満たすため・・・家畜として人間を造  
るなんて！！」

奴、つまり神は無表情でこう言った。

神「変なことを言つやつだ、人間にとつて牛が家畜なら  
私にとつて人間が家畜なのだよ。  
これが食物連鎖、いや摂理と言つべきかな」

下の世界では、突然起きた天変地異に逃げ惑つ人々。  
そして、神に祈りをささげる声が聞こえてきた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6080c/>

---

食物連鎖

2010年10月9日01時30分発行